





インストラクション

プロトコル

## 再演 - 指示とその手順 / Re-Display: Instruction and Protocol

本展は、指示書 (Instruction) に従い、複製、模倣、移行、再制作が必要となる芸術作品の再演 (再現) について、その保存、継承における作品の同一性を問うことを目的としています。作品の展示を主体とせず、展示時の作者不在を想定した第三者に伝えるための指示書、記録写真、映像、参考資料を展示し、その手順 (Protocol) や仕様、規定を考察していきます。

### 第1章：創造のために

日本絵画における下図や模本、粉本、また彫刻のマケツト (模型) や試作、蒔絵や螺鈿の制作手順を表した手板は、創造の手順であり、再現する完成像の見本です。それらが美術教育のなかでどのように継承され、創造の源泉となっていたのかを概観します。

### 第2章：再演のための指示

展示されることで初めて「作品」として成立する、いわゆるインスタレーションと呼ばれる作品や、生物由来の細胞や生体高分子を媒体として用いたバイオメディア・アートを対象とし、その指示書や展示記録から再演 (再現) の条件や規制についての問いを示していきます。

### 第3章：再制作と継承

鑑賞 (参加) されることで初めて「作品」として成立するインタラクティブ・アートについて、オリジナルと再制作の関係を再考します。静的な物質としての作品ではなく、総体としての動的な場や体験そのものの継承は、指示書というメディア (遺伝体) によって可能となるのでしょうか。

### 第X章：ミュージアムの仕様：暗黙の了解

本展は、新たなメディアともいえる指示書を端緒とし、美術館というミュージアムにおける芸術作品の再演 (再現) について考察するものです。作者による展示の指示だけでなく、保存や修復、破棄と権利、倫理観、地球環境への配慮など、芸術作品を取り巻く様々な「指示」について考察していきます。

1: 齋藤帆奈《食べられた色 / Eaten Colors》2020 - 2: 学生制作品 (美術) 9838 坂田ゆかり《ない者の場 / ない場の地図 (日本語版)》2019 3: 山田虎齋《楠公小型銅像木型》1899 4: ウォルフガング・ミュンヒ + 古川聖《Bubbles》2000/2021 5: 漆工 663《牡丹蒔絵手板》 6: 学生制作品 (美術) 9261 室井悠輔《自由の錬金術》2014

※本展は作品の指示書、記録写真、映像、参考資料を中心とするものです。そのため、広報物に掲載した作品画像は実際に展示される資料や作品とは異なりますので、予めご了承ください。

会期：2021年8月31日(火) - 9月26日(日)  
休館日：9/6 (月)、9/13 (月)、9/21 (火)  
開館：10:00 - 17:00  
(入館は16:30まで)  
場所：東京藝術大学大学美術館 本館展示室2  
観覧料：無料

※本展は事前予約制ではありませんが、今後の状況により、変更及び入場制限等を実施する可能性があります。

### 東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8

アクセス：

- JR 上野駅 (公園口)、東京メトロ千代田線根津駅 (1番出口) より徒歩 10分
- 京成線上野駅 (正面口)、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅 (7番出口) より徒歩 15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

ハローダイヤル：  
050-5541-8600

展覧会公式サイト：  
<https://taira.geidai.ac.jp/archives/projects/6>



同時開催：藝大コレクション展 2021 II期 東京美術学校の図案 - 大戦前の卒業制作を中心に / 会期：2021年8月31日(火) - 9月26日(日)  
場所：東京藝術大学大学美術館 本館展示室1 / 観覧料：一般 440円 他 (詳細は大学美術館ホームページにて) <https://www.geidai.ac.jp/museum/>